

5・6年 単元名「海の達人から学ぶ」(25時間)

1 単元設定の理由

木原小学校は、瀬戸内海沿岸に位置し、とても海が近く、景色が美しい学校である。しかし、護岸工事がしてあり、海の近くに行くことは禁止されていて、海で遊ぶことはできないため、海についての知識はあまりない。

そこで、海に関係することをされている様々な方々から話を聞くことで、海についての興味関心を高めるとともに、海についての知識を身につけさせたいと考えた。また、様々な人から話を聞くことで、多様な海に対する考え方や見方があることに気付かせたいとも考えた。

2 単元目標

海に関係する方々から話を聞くことで、海に対して興味、関心を持ち、海についての知識を身につける。

海に関係する方々から話を聞いたことをもとに、多様な海に対する考え方、見方があることに気付く。

海に関係する方々から話を聞いてまとめたものをもとに、全校児童や保護者、地域へ伝える。

3 単元の評価基準

自分の疑問に対して、専門家や関係者から話を聞くことで、答えや情報を集めることができる。

(情報の収集)

専門家や関係者から話を聞いたことをもとに、情報を整理したり、分析したりすることができる。

(整理・分析)

まとめたことを、いろいろな人にわかりやすく伝えることができる。(まとめ・表現)

専門家や関係者から話を聞いたことをもとに、新たな疑問をもつことができる。(課題の設定)

4 単元の指導計画

| 時 | 学習活動 | 指導上の留意点 |
|---|---|--|
| 1 4 | 屋形船経営者から学ぶ ・昔の海と今の海について聞く。 ・海の生物や植物について聞く。 ・アマモやスナメリについて聞く。 ・冊子にまとめる。 | ・5W1Hを使って質問を立てさせる。質問を整理させる。 ・ボイスレコーダーで録音する。 ・聞いたことで不十分なところを自分で調べさせる。 |
| 5 1 2 | 漁師さんから学ぶ ・漁師の仕事について聞く。 ・漁の仕方について聞く。 ・海に対しての見方、考え方を聞く。 ・壁新聞にまとめる。 | ・5W1Hを使って質問を立てさせる。質問を整理させる。 ・ボイスレコーダーで録音する。 ・聞いたことで不十分なところを自分で調べさせる。 |
| 1 3 2 0 | 海の研究者から学ぶ ・研究の仕事について聞く。(大学の仕事) ・瀬戸内海や海の生き物について聞く。 ・水族館経営について聞く。 ・海に対しての見方、考え方を聞く。 ・壁新聞にまとめる。 | ・5W1Hを使って質問を立てさせる。質問を整理させる。 ・ボイスレコーダーで録音する。 ・聞いたことで不十分なところを自分で調べさせる。 |
| 2 1 2 5 | 海の達人から学んだことを伝える ・プレゼンテーションにまとめる。 ・発表練習をする。 ・学習発表会で発表する。 | ・伝える人にとってわかりやすい発表になっているか確かめさせる。 |
| 外部連携 / 教材等 ・(有)魚とら(屋形船経営) ・三原市漁業協同組合 ・福山大学マリンバイオセンター ・NPO共存の森ネットワーク(聞き書き指導) | | |